

都市再生整備計画 モニタリングシート  
草薙駅周辺地区(第2期)

平成30年2月  
静岡県静岡市

様式3 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県		市町村名	静岡市		地区名	草薙駅周辺地区(第2期)			面積	250.9ha	
交付期間	平成27～31年度		事後評価実施予定時期	平成31年度	モニタリング実施時期	平成29年度	交付対象事業費	1910.0	国費率	0.4		
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施済み、実施中、実施予定の事業	基幹事業	【道路】JRR草薙駅北側歩道 【道路】JRR草薙駅南口駅前広場 【地域生活基盤施設】JRR草薙駅北口駐輪場等整備事業 【地域生活基盤施設】JRR草薙駅南口駅前広場整備事業 【地域生活基盤施設】JRR草薙駅周辺公共サイン整備事業 【高質空間形成施設(仮称)】南口シンボルロード整備事業 【高質空間形成施設】草薙駅北口広場整備事業				一部の実業で進捗の遅れが見られるが、それ以外の事業は全て概ね順調に進んでいる。					
		提案事業	事業効果分析 まちづくり活動支援事業				順調に進んでいる。					
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名				削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
		提案事業										
		新たに追加した事業	基幹事業									
提案事業												
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	モニタリング	計測年度	目標達成見込み	総合所見	今後の対応方針	
	指標1	駅前広場及び沿道の緑化に対する満足度	%	30.3	H26	43.8	H31	34.5	H29	あり ● なし	草薙駅北口通り線の整備や民間開発等により、沿道の緑化空間の創出が図られたことから、緑化に対する満足度の向上が見られた。	JRR草薙駅南口・北口における駅前広場等の整備や、景観デザインブックの活用促進により、新たな緑化空間の創出を図り、更なる満足度の向上を目指す。 また、商店街や民間企業等による緑化活動の促進に取り組む。
	指標2	駅前広場及び沿道の環境空間の割合	%	36.7	H26	54.1	H31	38.8	H29	あり ● なし	JRR草薙駅北側歩道や草薙駅北口通り線の整備、JRR草薙駅南北自由通路の開通等により、歩行者や自転車利用者にとって、安全・快適な移動環境が整備され、駅周辺における環境空間の割合が増加した。	JRR草薙駅南口・北口における駅前広場等の整備推進により、駅周辺の更なる環境空間の形成を目指す。 また、効果的な公共サインの設置やバリアフリー化の推進に取り組む。
	指標3	公共空間の利活用や維持管理体制の構築に伴う、草薙のまちへの愛着度	%	32.0	H26	41.5	H31	36.0	H29	あり ● なし	地域の学生や住民のまちづくりへの参画機会の創出や『草薙カルテッド』を中心とした地域主体のまちづくりに取り組むことにより、更なる愛着度の向上を目指す。 また、JRR草薙駅南口駅前広場等の整備を推進し、新たなイベント等を実施できる環境整備に取り組む。	地域の学生や住民のまちづくりへの参画機会の創出や『草薙カルテッド』を中心とした地域主体のまちづくりに取り組むことにより、更なる愛着度の向上を目指す。 また、JRR草薙駅南口駅前広場等の整備を推進し、新たなイベント等を実施できる環境整備に取り組む。
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	モニタリング	計測年度	目標達成見込み	総合所見	今後の対応方針	
	その他の数値指標1											
4) 定性的な効果発現状況												
5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	アンケート調査等によるモニタリング	都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				・事後評価時において、アンケート調査を実施する。 ・駅利用者の実態に即した意向を把握するため、事後評価時において駅利用者のヒアリング調査を実施する。					
	住民参加プロセス	草薙駅周辺まちづくり検討会議 ※1 草薙駅周辺まちづくり組織研究会 ※2 JRR草薙駅北口ランドデザイン研究会 ※3 JRR草薙駅南口ランドデザイン研究会 ※4	都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した モニタリング時点では実施していない				※1 「草薙駅周辺まちづくりビジョン」及び「くさなぎ景観デザインブック」を活用した草薙駅周辺地区のまちづくりの啓発活動・具体的な取組みの推進を図る。 ※2 「草薙カルテッド」を中心に、さらに地域が主体となったまちづくり活動の実践を目指す。 ※3 「JRR草薙駅北口ランドデザイン基本方針」の実現化に向けた産学民官の役割分担と、その実施に向けた具体的な取組みの検討や調整等を行う。 ※4 草薙駅南口周辺の将来ビジョンを検討し、「JRR草薙駅南口ランドデザイン」を取り進めるとともに、実現化に向けた具体的な取組み内容や役割分担の検討、社会実験の実施に向けた調整等を行う。					
	持続的なまちづくり体制の構築	まちづくり組織(一般社団法人 草薙カルテッド)	都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した モニタリング時点では実施していない				・近隣大学の学生、地域住民を巻き込んで地域情報誌「Helloくさなぎ」を作成する。 ・公共空間を活用したベンチや広告板の整備、オープンカフェやイベント等の開催により、草薙駅周辺のまちの賑わいや交流の促進を目指すため、「都市再生推進法入の指定」と「都市利便増進協定の締結」を目指す。					
6) モニタリングの所見	総合所見	順調 ● 要改善	一部の事業で進捗の遅れが見られるが、それ以外の事業は全て概ね順調に進んでいる。				今後の事業の改善点		実施中や未実施の事業があることから、今後も都市再生整備計画事業にかかる庁内関係課との連携を図り、着実な事業推進に取り組む。 草薙駅周辺地区の持続的なまちづくりを推進するため、継続的な調査の実施や、『草薙カルテッド』をはじめとする地域主体のまちづくりの運営体制の構築を図る。			

# 都市再生整備計画 モニタリングシート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 効果発現要因の整理

## (4) モニタリングの所見

- 添付様式5-① まちの課題の変化
- 添付様式5-② 総合所見・今後の事業の改善点

## (6) モニタリング原案の公表

- 添付様式6 モニタリング原案の公表

## (7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式7 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●	—	—	—
B. 目標を定量化する指標		●	—	—	—
C. 目標値		●	—	—	—
D. その他( )		●	—	—	—

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業											
事業	事業箇所名	当初計画		モニタリング時		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、 数値目標等への影響	モニタリング時の状況			今後の事業見込み
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			未着手	事業中	完成	
道路	JR草薙駅北側歩道	54.0	L=140m,W=5m (H27)	54.0	L=140m,W=5m (H27)	なし	-			●	計画通り完成
	JR草薙駅南口駅前広場	198.0	A=2,300㎡ (H27～H30)	198.0	A=2,300㎡ (H27～H30)	なし	-		●		H30年度完成に向けて 事業推進
公園											
河川											
下水道											
駐車場有効利用システム											
地域生活基盤施設	JR草薙駅北口駐輪場等整備事業	310.0	収容400台 (H27～H29)	310.0	収容400台 (H27～H29)	なし	-	●			
	JR草薙駅南口駅前広場整備事業	593.0	A=2,800㎡ (H28～H30)	593.0	A=2,800㎡ (H28～H30)	なし	-		●		H30年度完成に向けて 事業推進
	JR草薙駅周辺公共サイン整備事業	110.0	約30基 (H27～H30)	110.0	約30基 (H27～H30)	なし	-		●		H30年度完成に向けて 事業推進
高質空間形成施設	(仮称)南口シンボルロード整備事業	342.0	L=200m (H28～H31)	342.0	L=200m (H28～H31)	なし	-	●			
	草薙駅北口広場整備事業	230.0	A=3,100㎡ (H29)	230.0	A=3,100㎡ (H29)	なし	-		●		H29年度完成に向けて 事業推進
高次都市施設											
市街地再開発事業											
優良建築物等整備事業											
土地区画整理事業(都市再生)											
住宅市街地総合整備事業											

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

モニタリング時の状況は、年度末時点の状況を記載した。

基幹事業											
事業	事業箇所名	当初計画		モニタリング時		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、 数値目標等への影響	モニタリング時の状況			今後の事業見込み
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			未着手	事業中	完成	
地区再開発事業											
バリアフリー環境整備事業											
優良建築物等整備事業											
住宅市街地総合整備事業											
街なみ環境整備事業											
住宅地区改良事業等											
都心共同住宅供給事業											
公営住宅等整備											
都市再生住宅等整備											
防災街区整備事業											

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業											
事業	細項目	当初計画		モニタリング時		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、 数値目標等への影響	モニタリング時の状況			今後の事業見込み
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			未着手	事業中	完成	
地域創造 支援事業											
事業活用調査	事業効果分析	10.0	— (H29～H31)	25.0	— (H29～H31)	平成29年7月の計画変更(第1回変更)にて事業費を増額	増額を伴うが、指標及び数値目標に影響なし。		●		継続して分析を実施
まちづくり 活動推進事業	まちづくり活動支援事業	48.0	— (H27～H31)	48.0	— (H27～H31)	なし	—		●		継続して支援を実施

モニタリング時の状況は、年度末時点の状況を記載した。

## (参考)関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	モニタリング時	当初計画	モニタリング時		
(都)草薙駅北口通り線整備事業		(都)草薙駅北口通線	384.0	384.0	平成24年度～平成30年度	平成24年度～平成30年度	事業実施中	
(都)草薙JR草薙駅南北自由通路整備事業		JR草薙駅南北自由通路	2,380.0	2,380.0	平成24年度～平成29年度	平成24年度～平成29年度	計画通りに完成	
(仮称)南口シンボルロード電線共同溝		—	236.0	236.0	平成28年度～平成31年度	平成28年度～平成31年度	未着手	
草薙駅周辺地区 バリアフリー道路特定事業		—	64.0	64.0	平成27年度～平成31年度	平成27年度～平成31年度	事業実施中	
市道草薙楠4号線整備事業		市道草薙楠4号線	41.0	41.0	平成25年度～平成27年度	平成25年度～平成27年度	事業実施中	
草薙駅周辺地区駐車場整備計画見直し事業		駐車場整備地区	15.0	15.0	平成29年度～平成29年度	平成29年度～平成29年度	事業実施中	
JR草薙駅橋上駅舎整備事業		JR草薙駅	—	—	平成24年度～平成29年度	平成24年度～平成29年度	計画通りに完成	
草薙駅南口地区第1種市街地再開発事業		草薙駅南口	2,706.0	2,706.0	平成23年度～平成28年度	平成23年度～平成28年度	計画通りに完成	

進捗状況は、年度末時点の状況を記載した。



添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法とモニタリング値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値(ア)		従前値(イ)		目標値(ウ)		モニタリング(エ)		現段階での目標達成見込み		総合所見	今後の方針
			基準年度		基準年度		目標年度		実施年度		あり	なし		
指標1	%	駅前広場及び沿道の緑化に対する満足度	—	—	30.3	H26	43.8	H31	34.5	H29	●		草薙駅北口通り線の整備や民間開発等により、沿道の緑化空間の創出が図られたことから、緑化に対する満足度の向上が見られた。	JR草薙駅南口・北口における駅前広場等の整備や景観デザインブックの活用促進により、新たな緑化空間の創出を図り、更なる満足度の向上を目指す。
指標2	%	駅前広場及び沿道の環境空間の割合	—	—	36.7	H26	54.1	H31	38.8	H29	●		JR草薙駅北側歩道や草薙駅北口通り線の整備、JR草薙駅南北自由通路の開設等により、歩行者や自転車利用者にとって安全・快適な移動環境が形成され、駅周辺における環境空間の割合が増加した。	JR草薙駅南口・北口における駅前広場等の整備推進により、駅周辺の更なる環境空間の形成を目指す。
指標3	%	公共空間の利活用や維持管理体制の構築に伴う、草薙のまちの愛着度	—	—	32.0	H26	41.5	H31	36.0	H29	●		夏フェス・冬フェスや草薙マルシェなど、駅周辺におけるエリアマネジメントの取組みにより、市民のまちへの愛着度の向上が見られた。	地域の学生や住民のまちづくりへの参画機会の創出や『草薙カルテッド』を中心とした地域主体のまちづくりに取り組むことにより、更なる愛着度の向上を目指す。

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法とモニタリング値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値(ア)		従前値(イ)		目標値(ウ)		モニタリング(エ)		本指標を取り上げる理由	総合所見	今後の方針
			基準年度		基準年度		目標年度		実施年度				
その他の数値指標1													
その他の数値指標2													
その他の数値指標3													

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

--

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の方針等
アンケート調査等によるモニタリング	予定どおり実施した	● 【実施時期】平成29年7月 【実施結果】回収率36.9% (258/700) 指標となるまちづくりの満足度や今後の期待値について、交付期間中の変化を確認することができた。	事後評価時において、アンケート調査を実施するとともに、駅利用者の実態に即した意向を把握するため、駅利用者のヒアリング調査の実施を検討する。
	予定はなかったが実施した		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の方針等
草薙駅周辺まちづくり検討会議	予定どおり実施した	● 平成26年1月に草薙駅周辺の「産学官民」が一体となり、草薙駅周辺地区のまちづくりの検討を進めることを目的に発足（平成29年9月時点、計12回開催）。 【主な活動内容】 ・草薙駅周辺の将来のまちの姿を描き、まちづくりの指針やまちづくりのテーマについて協議し、「草薙駅周辺まちづくりビジョン」を策定。 ・草薙駅周辺における景観形成の取り組みについて検討を行い、「くさなぎ景観デザインブック」を策定。 ・活動内容の周知として、「Helloくさなぎ(計2回)」や「草薙まちづくりニュース(計4回)」等の広報媒体を発行。 ・その他勉強会等を開催。	「草薙駅周辺まちづくりビジョン」及び「くさなぎ景観デザインブック」を活用した草薙駅周辺地区のまちづくりの啓発活動・具体的な取組みの推進を図る。 「Helloくさなぎ」や「草薙まちづくりニュース」の継続的な発行を通じた地域住民へのまちづくり情報の周知を図り、更なる愛着度の向上に繋げる。
	予定はなかったが実施した		
	モニタリング時点では実施していない		
草薙駅周辺まちづくり組織研究会	予定どおり実施した	● 施設の持続的な活用や継続的なまちの魅力の向上を図るための組織づくりの検討を目的として発足。 平成29年2月に、まちづくり組織『一般社団法人 草薙カルテッド』を設立。 【主な活動内容】 ・コア会議を実施し、まちづくり組織の体制や定款などの基本事項について検討。 ・ワーキンググループを実施し、まちづくり組織の事業内容について検討。 ・地域住民に草薙駅周辺のこれまでの取り組みを周知し、意見をいただく場として「まちづくり組織フォーラム」を計2回開催。	『草薙カルテッド』を中心とした地域主体のまちづくり活動の実践を目指す。(駅周辺の賑わいづくり、安全・安心・住み良さづくり、文化教育活動の実施など) 『草薙カルテッド』による住民意向を反映した取組みの推進により、地域住民のイベント活動への積極的な参加を促し、更なるまちの愛着度の向上に繋げる。
	予定はなかったが実施した		
	モニタリング時点では実施していない		
JR草薙駅北口グランドデザイン研究会	予定どおり実施した	● まちづくりビジョンの策定を受け、JR草薙駅北口の将来のまちの在り方について、地域一体となって検討する場を設けるために発足。 【主な活動内容】 ・JR草薙駅北口の現況や課題を踏まえ、まちづくりの基本方針に基づいたゾーン設定を行い、「JR草薙駅北口グランドデザイン基本方針」を取り纏めた。	「JR草薙駅北口グランドデザイン基本方針」の実現化に向けた産学民官の役割分担と、その実施に向けた具体的な取組みの検討や調整等を行う。
	予定はなかったが実施した		
	モニタリング時点では実施していない		
JR草薙駅南口グランドデザイン研究会	予定どおり実施した	● まちづくりビジョンの策定を受け、JR草薙駅南口のテーマ別まちづくりの将来像や実施事業案について、地域一体となって検討する場を設けるために発足。 【主な活動内容】 ・「JR草薙駅南口グランドデザイン研究会準備会」を計5回実施し、JR草薙駅南口周辺の現況や課題の整理を行った。 ・現況や課題を踏まえた上でJR草薙駅南口周辺の将来像や実現化方策を検討するために、「JR草薙駅南口グランドデザイン研究会」を発足（平成29年10月に第1回を開催）。	草薙駅南口周辺のまちの将来ビジョンを検討し、「JR草薙駅南口グランドデザイン」を取り纏める。 「JR草薙駅南口グランドデザイン」の実現化に向けた具体的な取組み内容や役割分担の検討、社会実験の実施に向けた調整等を行う。
	予定はなかったが実施した		
	モニタリング時点では実施していない		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名：組織の概要	
一般社団法人 草薙カルテッド	予定どおり実施した	● 「草薙駅周辺まちづくり組織研究会」において、施設の持続的な活用や継続的にまちの魅力を高めていくための組織の在り方について検討。	【組織名】 一般社団法人 草薙カルテッド 【組織概要】 草薙のまちづくりを持続的・一体的・効果的にマネジメントし、住民・商業者・来街者等に価値のある都市サービスを提供することを目的に活動を実施。	近隣の大学の学生、地域住民を巻き込んで地域情報誌「Helloくさなぎ」を作成する。公共空間を活用したベンチや広告板の整備、オープンカフェやイベント等の開催により、草薙駅周辺のまちの賑わいや交流の促進を目指すため、「都市再生推進法人の指定」と「都市利便増進協定の締結」を目指す。
	予定はなかったが実施した			
	モニタリング時点では実施していない			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
静岡市都市再生整備計画事業推進本部	本部長: 都市局 次長兼都市計画部長 本部員: 総務局 危機管理総室長 市民局 次長、観光交流文化局 次長、 環境局 次長、保健福祉長寿局 次長、 都市局 建築部長、建設局 次長兼土木部長、 建設局 道路部長、消防局 主幹兼総務係長、 上下水道局 下水道部長	第1回: 平成29年11月2日	都市局 都市計画部 都市計画課
草薙駅周辺地区 地区部会 (上記推進本部の下部組織)	部会長: 清水駅周辺整備課 参与兼課長 部会員: 都市局都市計画課 参与兼課長、 都市局都市計画課 都市企画担当課長、 都市局交通政策課 参与兼課長、 建設局道路計画課 課長	第1回: 平成29年8月18日 第2回: 平成29年10月19日	都市局 都市計画部 清水駅周辺整備課

添付様式4-② 効果発現要因の整理

現行計画		指標の種類	指標1	指標2	指標3	その他の指標	
		指標名	駅前広場及び沿道の緑化に対する満足度(%)	駅前広場及び沿道の環境空間の割合(%)	公共空間の利活用や維持管理体制の構築に伴う、草薙のまちへの愛着度(%)		
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路: JR草薙駅北側歩道	-	草薙駅北口通り線の整備や民間開発等により、沿道の緑化空間の創出が図られたことから、緑化に対する満足度の向上が見られた。	◎	JR草薙駅北側歩道や草薙駅北口通り線の整備、JR草薙駅南北自由道路の開設等により、歩行者や自転車利用者にとって安全・快適な移動環境が形成され、駅周辺における環境空間の割合が増加した。	-	夏フェス・冬フェスや草薙マルシェなど、駅周辺におけるエリアマネジメントの取組みにより、市民のまちへの愛着度の向上が見られた。
	道路: JR草薙駅南口駅前広場	-		-			
	地域生活基盤施設: JR草薙駅北口駐輪場等整備事業	-		-			
	地域生活基盤施設: JR草薙駅南口駅前広場整備事業	-		-			
	地域生活基盤施設: JR草薙駅周辺公共サイン整備事業	-		-			
	高質空間形成施設: (仮称)南口シンボルロード整備事業	-		-			
高質空間形成施設: 草薙駅北口広場整備事業	-	-	-				
提案事業	事業活用調査: 事業効果分析	-	-	-	-	-	-
	まちづくり活動推進事業: まちづくり活動支援事業	○	-	-	◎	-	-
関連事業	(都)草薙駅北口通り線整備事業	◎	-	◎	-	-	-
	(都)草薙JR草薙駅南北自由道路整備事業	-	-	◎	○	-	-
	(仮称)南口シンボルロード電線共同溝	-	-	-	-	-	-
	草薙駅周辺地区 バリアフリー道路特定事業	-	-	-	-	-	-
	市道草薙橋4号線整備事業	-	-	-	-	-	-
	草薙駅周辺地区駐車場整備計画見直し事業	-	-	-	-	-	-
	JR草薙駅橋上駅舎整備事業	-	-	◎	-	-	-
	草薙駅南口地区第1種市街地再開発事業	-	-	◎	○	-	-

※指標改善への貢献度

- ◎: 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献している。
- : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献している。
- △: 完成直後又は事業開始直後のため、効果の発揮に至っていない。
- ×: 事業が完了したが、期待通りの効果を発揮していない。
- : 評価できない。
- 未着手又は事業中のため評価できない、事業が指標と関係ないので評価できない

今後の方針等	指標1	指標2	指標3
	JR草薙駅南口・北口における駅前広場等の整備や景観デザインブックの活用促進により、新たな緑化空間の創出を図り、更なる満足度の向上を目指す。また、商店街や民間企業等による緑化活動の促進に取り組む。	JR草薙駅南口・北口における駅前広場等の整備推進により、駅周辺の更なる環境空間の形成を目指す。また、効果的な公共サインの設置やバリアフリー化の推進に取り組む。	地域の学生や住民のまちづくりへの参画機会の創出や「草薙カルテッド」を中心とした地域主体のまちづくりに取り組むことにより、更なる愛着度の向上を目指す。また、JR草薙駅南口駅前広場等の整備を推進し、新たなイベント等を実施できる環境整備に取り組む。

※ 事業名等の文字色について ⇒ 赤字: 完成、青文字: 事業中、黒文字: 未着手 を示す。中間評価時点は、H29年度末(H30年度3月末)として整理した。

#### (4) モニタリングの所見

##### 添付様式5-① まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	モニタリングの時点で達成されたこと (課題の改善状況)	交付期間中に解決すべき 残された課題	交付期間中に発生した 新たな課題
【「緑」について】 ・駅周辺の整備・開発に合わせ、街の顔として、沿道の緑化や駅前広場等の公共空間への緑の配置など、「緑」の質を高め、人々が滞留し、交流できる緑環境整備が課題	草薙駅北口通り線の整備や民間開発により、駅周辺の一部において質の高い緑化空間が整備され、市民の緑化に対する満足度向上につながっている。	草薙駅北口通り線の整備や民間開発等により緑化が図られたものの、公共事業による整備は完了していない。	
【「安全・安心」について】 ・駅周辺における、歩行者や自転車の移動環境の安全性・快適性の確保及び誰もが安全感を得られるような生活環境の構築と防災、防犯活動の継続性が課題	JR草薙駅北側歩道やJR草薙駅南北自由通路等の整備により、駅周辺の一部において環境空間の改善が図られ、駅利用者が安全・快適に移動できる空間整備が進んでいる。	駅周辺の移動環境の整備が完了しておらず、安心して移動できる環境が提供できていない。	駅周辺の整備に伴い、駅利用者の増加が見込まれることから、早期に事業を完了する必要がある。 『草薙カルテッド』が設立されたが、人材の確保や持続的な収入の確保、組織の拡大などが課題である。
【「文教・にぎわい」について】 ・草薙の特色である「文教」や「にぎわい」をより創出できるような公共空間の利活用や維持管理を視野に入れたまちの持続的な管理運営体制の構築が課題	夏フェス・冬フェスや草薙マルシェなど、駅周辺における各種のエリアマネジメントの取組みにより、市民のまちづくりに対する関心の高まりが見られ、駅周辺のにぎわい創出やまちへの愛着度の向上につながっている。	駅前広場の整備が完了していないため、人々が滞留し、交流できる空間形成には至っていない。整備後の公共空間において、持続的な維持・管理運営体制の構築等が課題である。	

##### 添付様式5-② 総合所見・今後の事業の改善点

総合所見		今後の事業の改善点		
		具体的項目	内容	
順調	●	事業の進め方の工夫	都市再生整備計画事業にかかる庁内連絡体制の整備	実施中の事業や未実施の事業があることから、今後も都市再生整備計画事業にかかる庁内関係課との連携を図り、着実な事業推進に取り組む。
計画・事業の進め方の改善が必要			地域が主体となったまちづくりの運営体制の構築	草薙駅周辺地区の持続的なまちづくりを推進するため、継続的な調査の実施や、『草薙カルテッド』をはじめとする地域主体のまちづくりの運営体制の構築を図る。
一部の事業で進捗の遅れが見られるが、それ以外の事業は全て概ね順調に進んでいる。		都市再生整備計画の見直しの必要性	事業費等の見直し	都市再生整備計画の掲載事業の進捗状況や今後の実施状況を確認し、事業費等の変更を行う場合に、都市再生整備計画の見直しを実施する。
			「都市再生推進法人」の指定及び「都市利便増進協定」の締結	今後、『草薙カルテッド』が「都市再生推進法人」の指定を受け、「都市利便増進協定」の締結をする場合に、都市再生整備計画の見直しを実施する。

## (5) モニタリング原案の公表

添付様式6 モニタリング原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	平成29年11月16日～	平成29年11月17日～12月18日	パブリックコメント(意見公募手続)にて実施 郵送、FAX、電子申請 および清水駅周辺整備課へ直接持参	都市局 都市計画部 清水駅周辺整備課
広報掲載・回覧・個別配布	—	—	—		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	清水駅周辺整備課窓口における閲覧	平成29年11月16日～12月18日	平成29年11月17日～12月18日		

住民の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植栽を多くして、緑を増やすのは良いことだと思います。しかし、多すぎると虫が寄ってきてしまうため、寄りつかない対策をして欲しいです。</li> <li>・「みかんの産地」であることを活かし、街路樹としてみかんを植え、専門家に管理委託して欲しいです。また開花や収穫を楽しみ、イベント等に活用して欲しいです。</li> <li>・JR草薙駅南口駅前広場(ロータリー)は車両で混雑して危険であるため、歩行空間として再整備し、芝生広場やイベント広場、モニュメントを設置して欲しいです。</li> <li>・広場や沿道に賑わいを創るためには、商店会の充実や魅力のあるイベントの開催、休憩のための緑やベンチ等が必要です。また、そこに出向くために駐輪場(無料)や公共交通機関(コミュニティバス等)が必要です。</li> <li>・駅周辺での受動喫煙を防止するため、喫煙禁止区域の指定や、景観に配慮した喫煙所の設置が必要です。</li> </ul>
-------	---

## (6) 有識者からの意見聴取

### 添付様式7 有識者からの意見聴取

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
・静岡大学人文社会科学部 教授 日詰一幸 ・技術士 松本亨 ・東京都市大学環境学部環境創生学科 教授 室田昌子 (欠席、事前回答提出)	平成30年2月1日(木)	都市局 都市計画部 都市計画課

有識者の意見	<p>評価委員会(第三者委員会)を開催し、意見聴取を実施した。 有識者(評価委員)からの主な意見を以下に掲載する。</p> <p>■日詰氏の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民だけではなく、補足的に駅の利用者を対象とした調査を実施したらどうか。</li> <li>・草薙駅周辺の流れを把握することが重要である。</li> <li>・草薙カルテッドが自立して収益を上げるために、行政の積極的な介入は行わず、協議等を通して良い関係を築いていくことが望ましい。</li> </ul> <p>■松本氏の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者の移動環境の安全を確保するためには、歩行者と自転車の分離が重要であると考えます。</li> <li>・アンケートの回収率を上げるための働きかけを強化すべきである。</li> <li>・常葉大学草薙キャンパスの開校は、草薙のまちづくりに大きな影響を与えると思われる。今まで以上に、まちづくりへの学生参加の機会を増やしていくことが望ましい。</li> </ul> <p>■室田氏の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート集計において、「利用する駅」とクロス集計することで、より精度の高い数値が得られるのではないかと。</li> <li>・指標2とは別に、事業効果を計測するためのアウトカム指標も設定したらどうか。アンケート調査の結果の中に、環境空間の割合向上の効果を確認するものとして利用可能な設問があれば、補足として提示しても良いと思う。</li> <li>・まちへの愛着度を問う前提として、現在行われているまちづくり団体の活動・イベント等について、「知っている」または「参加したことがある」等の設問があった方が良い。</li> <li>・居住年数を問う設問があった方が良い。</li> <li>・アンケートを調査目的だけでなく、草薙のまちづくり活動のPRの手段として活用してはどうか。</li> <li>・地域の担い手育成を視野に入れ、「どのような活動に参加したいか」や「地域でどのような役割を担いたいか」というような設問があると良い。</li> <li>・自治会の活動などで、周囲から参加を促されることで、かえってまちへの愛着が減らないような配慮が必要である。</li> <li>・常葉大学草薙キャンパスの開校等により、人の流れや居住者の特性に大きな変化が生じると思われるため、事後評価の際のアンケート調査への配慮が必要である。</li> <li>・様々な事業が進んでいるため、評価もより多角的に実施することが望ましい。</li> </ul>
--------	--

# 都市再生整備計画(第2回変更)

くさなぎえきしゅうへんちく  
草薙駅周辺地区

しずおかけん しずおかし  
静岡県 静岡市

平成29年11月



## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	静岡県	市町村名	しずおかし 静岡市	地区名	くさなぎえきしゅうへん 草薙駅周辺地区	面積	250.9 ha
計画期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度	交付期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度				

<b>目標</b>							
大目標：草薙駅周辺環境整備の推進と、地域主体のまちの管理運営体制の構築							
目標1：駅周辺の整備・開発に合わせ、街の顔としての、沿道の緑化や駅前広場等の公共空間への質の高い緑の配置など、人々が気持ちよく回遊し滞留し交流できる緑の整備							
目標2：駅周辺における、歩行者や自転車の移動環境の安全性の確保・利便性の向上と、誰もが安心感を得られる防犯性の向上							
目標3：まちの特色である「文教」や「にぎわい」を創出するような公共空間の利活用や維持管理を視野に入れたまちの管理運営体制の構築							

<b>目標設定の根拠</b>							
まちづくりの経緯及び現況							
①まちづくりの経緯							
<ul style="list-style-type: none"> <li>草薙地区は、旧清水市・静岡市の市境部分に位置し、JR線と静岡鉄道の2線が利用できる交通至便な市街地である。JR新幹線・在来線以南(南地区)は静岡地区土地区画整理事業(県施工、昭40～平5、132.1ha)によって計画的な基盤整備がなされるとともに、後背丘陵地の豊かな自然環境等も背景として、市内有数の優良な住宅地と、静岡県立大学、県立美術館・図書館の立地による文教地区が形成されてきた。</li> <li>現在草薙駅周辺では、静岡地区土地区画整理事業から20年以上が経過し、まちを取り巻く状況への変化に対応する新たな動きとして、駅北側の静岡銀行本部棟の建て替え事業、駅南側の駅前市街地再開発事業等、大規模な民間開発が動きつつある。</li> <li>社会情勢の変化や多様化・複雑化する市民ニーズに対し、行政主体によるまちづくりの運営等では、地域の実情にあったきめ細かな施設運営やサービスの提供が難しく、画一的なまちになり、特徴ある資源を活かすことができなくなる可能性がある。そこで、草薙の歴史・文化を活かした持続発展的な地域経営を目指すため、草薙に関わる人たちが主体となり、官民協働でまちの管理運営を推進していく体制が求められている。</li> </ul>							
②草薙のまちの状況							
<ul style="list-style-type: none"> <li>有度山につながるケヤキ並木、住宅の庭や生け垣、住宅地内に点在する生産緑地や植木の圃場の緑などが豊富である。→「緑」</li> <li>草薙駅を中心とした地域には、緑豊かな環境を活かした良好な住宅地や駅前商店街などが立地し、駅を中心としたコンパクトなまちが形成されている。また、地域活動により良好な生活環境の形成や、防災性や防犯性向上への意識が高まりつつある。→「安全・安心」</li> <li>有度山の北麓に県立中央図書館が移転後、県立美術館、県立大学が立地し、文教ゾーンとしてのイメージを形成している。また、四季を通じて様々な祭や催事が開催されており、草薙神社の草薙大龍勢は文化的景観を形成している。→「文教」</li> <li>草薙商店街、草薙に関連する企業、住民や県大などの学生、草薙で活動している人々による地域交流イベントの開催等、地域の活性化を図る取り組みが実施されている。→「にぎわい」</li> </ul>							

<b>課題</b>							
【「緑」について】							
草薙駅周辺には多様な緑が存在するが、駅周辺及び沿道では緑を感じさせるような気持ちの良い空間となっていないため、駅周辺の整備・開発に合わせ、街の顔として、沿道の緑化や駅前広場等の公共空間への緑の配置など、「緑」の質を高め、人々が滞留し、交流できる緑環境整備が課題							
【「安全・安心」について】							
今後開発が進むことにより、駅周辺における、歩行者や自転車の移動環境の安全性・快適性の確保が課題となっている。また、住宅地などにおいて誰もが安心感を得られるような生活環境の構築と、防災、防犯活動の継続性などが今後の課題である。							
【「文教・にぎわい」について】							
今後駅周辺における公共空間の整備が進む中、草薙の特色である「文教」や「にぎわい」をより創出できるような公共空間の利活用や維持管理を視野に入れたまちの持続的な管理運営体制の構築が課題である。							

<b>将来ビジョン(中長期)</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の文教施設等を活かした、高度な文化・レクリエーション機能を維持していくとともに、地区周辺の住宅及び商業と一体となった拠点形成を図る(静岡市都市計画マスタープランより)。</li> <li>静岡市都市計画マスタープランでは、清水区の骨格を形成する拠点(地域拠点)として草薙駅周辺地区が位置づけられている。</li> <li>同マスタープランの清水区の都市交通の方針(主要な交通結節点の方針)では、駅前広場等の未整備により、駅利用交通のほとんどが南口に集中するといった問題を抱えているJR草薙駅北口においては、駅前広場の整備や歩行者空間のバリアフリー化を推進し、駅利用交通の分散化と交通の円滑化を図り、交通結節点の機能強化を図るとされている。</li> <li>草薙駅周辺まちづくりビジョン(平成27年3月策定(予定))では、今後40年後を見据え『次代につながる選ばれる街』を目指します。～草薙周辺に住む人、来る人、みんなが主役～』をまちづくりの理念とし、草薙駅周辺における現状や地域が求めていること、地域の想いなどから、4つの分野をテーマとしてまちづくりを推進していく。</li> </ul>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>①緑に生まれながら～緑と暮らす街～：身近な緑の創出や回遊を促す緑空間づくりに取組むことで、人々に安らぎを与え、生涯に渡る心と体の健康を育む緑あふれるまちづくりを進める。</li> <li>②知を創造する～「文教」の街～：より身近に歴史・文化を感じられるよう地域固有の歴史・文化資源を活用し、次世代へ継承する取組みを進め、「文教」の街としての魅力を高める。</li> <li>③ほっとする～「安全・安心」な街～：交通環境の向上や防災対策・防犯対策を強化し、誰もが安全で安心できるまちづくりを進める。</li> <li>④コミュニティを、未来へ～「にぎわい」のある街～：持続可能なまちとしていくため、商業空間づくりや多様なニーズに対応するイベントの開催、多様な価値観を共有できる活動の場の創出などにより「にぎわい」のあるまちを目指す。</li> </ul>							
今回の(仮称)草薙駅周辺地区都市再生整備計画は、草薙駅周辺まちづくりビジョン推進のための短期計画(概ね5年間)として位置づける。							

<b>目標を定量化する指標</b>							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
1. 駅前広場及び沿道の緑化に対する満足度	%	地区住民を対象としたアンケート調査結果により、「駅前広場及び沿道の緑化に対する満足度」に対し、「そう思う、ややそう思う」と回答した人の割合	駅周辺の環境整備による、公共空間の緑の質に対する指標	30.3%	平成26年度	43.8%	平成31年度
2. 駅前広場及び沿道の環境空間の割合	%	草薙駅周辺区域の公共空間(車道、歩道、広場など)のうち、環境空間(車道以外の公共空間)が占める面積割合	駅周辺の環境整備による、駅前広場周辺の安全性・利便性等に対する指標	36.7%	平成26年度	54.1%	平成31年度
3. 公共空間の利活用や維持管理体制の構築に伴う、草薙のまちへの愛着度	%	地区住民を対象としたアンケート調査結果により、「草薙のまちに対する愛着度」に対し、「そう思う、ややそう思う」と回答した人の割合。	駅周辺環境の整備による、まちへの愛着意識に対する指標	32.0%	平成26年度	41.5%	平成31年度

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	草薙駅周辺地区	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1: 駅周辺の整備・開発に合わせた、沿道や駅前広場等公共空間に質の高い緑を確保する。</p> <p>・地域住民や来街者が気持ちよく回遊し滞留し交流できる緑の空間を確保するため、駅周辺の整備・開発に合わせ、沿道や駅前広場等の公共空間において、質の高い緑の整備をする。</p>		<p>【基幹事業】            道路事業: JR草薙駅北側歩道整備事業、JR草薙駅南口駅前広場整備事業            地域生活基盤施設(広場): JR草薙駅南口駅前広場整備事業            高質空間形成施設(緑化施設等): (仮称)南口シンボルロード整備事業            まちづくり活動推進事業: まちづくり活動支援事業</p> <p>【関連事業】            (都)草薙駅北口通り線整備事業、(仮称)南口シンボルロード電線共同溝</p>
<p>整備方針2: 駅舎、駅前広場等、駅周辺の整備により、安全安心な生活環境を整える。</p> <p>・鉄道による市街地の分断を解消・緩和し、南北地区の住民の自由でバリアフリーな往来を実現するため、JR草薙駅橋上駅舎化及び南北自由通路並びに駅周辺の整備による交通結節機能の強化と幹線道路整備事業の推進を図る。</p>		<p>【基幹事業】            道路事業: JR草薙駅北側歩道整備事業、JR草薙駅南口駅前広場整備事業            地域生活基盤施設(広場): JR草薙駅南口駅前広場整備事業、            地域生活基盤施設(情報板): JR草薙駅周辺公共サイン整備事業            地域生活基盤施設(自転車駐車場): JR草薙駅北口駐輪場等整備事業            高質空間形成施設(緑化施設等): (仮称)南口シンボルロード整備事業、草薙駅北口広場整備事業</p> <p>【提案事業】            まちづくり活動推進事業: まちづくり活動支援事業</p> <p>【関連事業】            (都)草薙駅北口通り線整備事業、(都)草薙駅南北自由通路整備事業、(仮称)南口シンボルロード電線共同溝、草薙駅周辺地区バリアフリー道路特定事業、市道草薙橋4号線整備事業、草薙駅周辺地区駐車場整備計画見直し事業、JR草薙駅橋上駅舎整備事業、草薙駅南口地区第1種市街地再開発事業</p>
<p>整備方針3: 地域の多様な主体を巻き込んだまちづくりの推進体制づくりを検討する。</p> <p>・持続可能なまちづくり体制を構築するため、地域の多様な主体を巻き込んだまちづくりの推進体制づくりの検討を行う。また、活動を推進するための、地域交流拠点などの検討も行う。</p>		<p>【基幹事業】            道路事業: JR草薙駅南口駅前広場整備事業            地域生活基盤施設(広場): JR草薙駅南口駅前広場整備事業            高質空間形成施設(緑化施設等): (仮称)南口シンボルロード整備事業</p> <p>【提案事業】            まちづくり活動推進事業: まちづくり活動支援事業</p> <p>【関連事業】            草薙駅南口地区第1種市街地再開発事業</p>
<p>その他</p>		

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	2,005.0	交付限度額	802.0	国費率	0.4
---------	---------	-------	-------	-----	-----

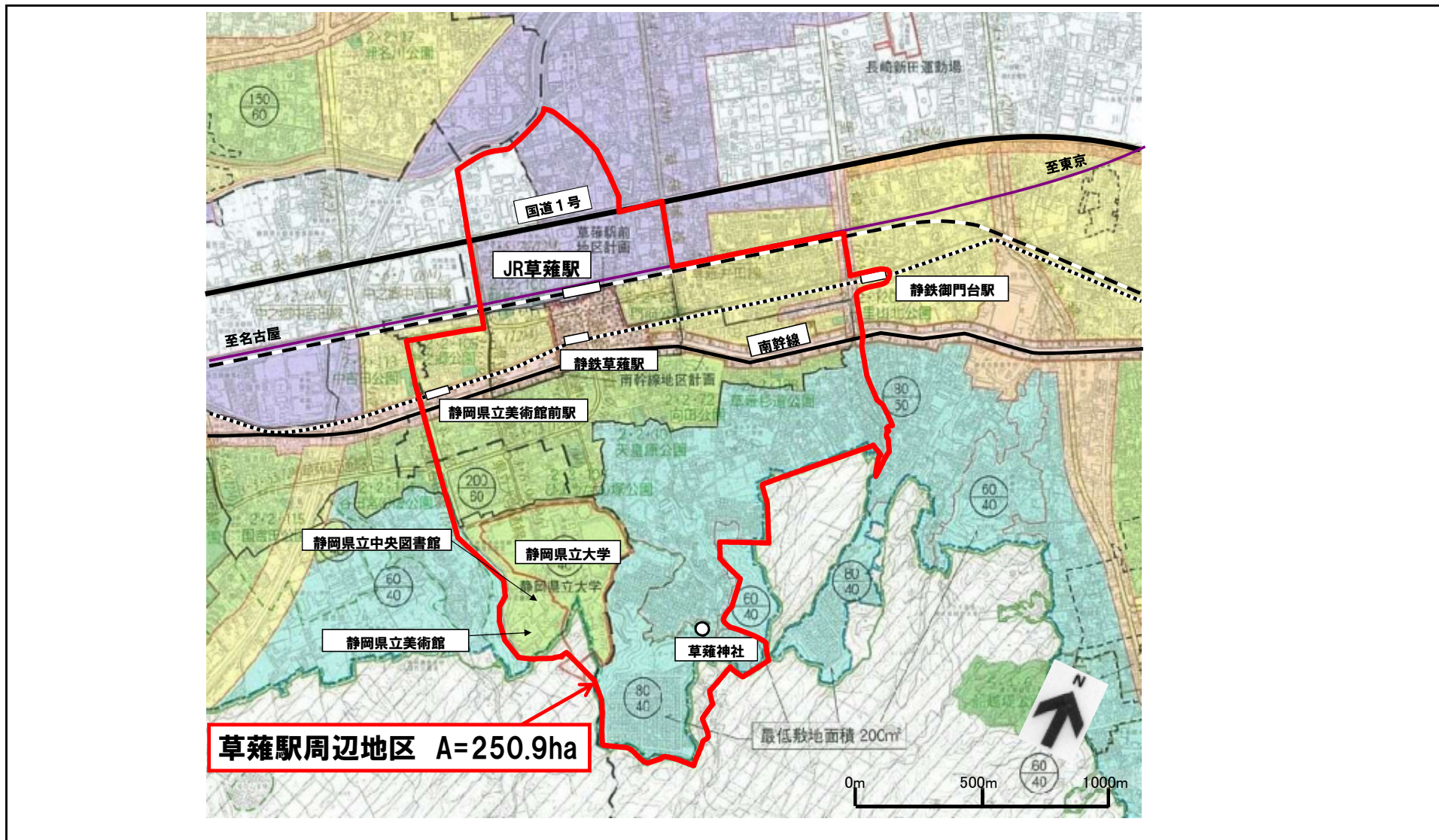
(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	交付期間内		交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
道路		JR草薙駅北側歩道		直	L=140m、W=5m	H25	H27	H27	H27	207	54	54.0		54.0
		JR草薙駅南口駅前広場	静岡市	直	A=2,300㎡	H25	H30	H27	H30	266	241	241.0		241.0
公園														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設	(自転車駐車場)	JR草薙駅北口駐輪場等整備事業	静岡市	直	収容400台	H25	H29	H27	H29	498	310	310.0		310.0
	(広場)	JR草薙駅南口駅前広場整備事業	静岡市	直	A=2,800㎡	H27	H30	H27	H30	593	593	593.0		593.0
	(情報板)	JR草薙駅周辺公共サイン整備事業	静岡市	直	約30基	H27	H30	H27	H30	110	110	110.0		110.0
高質空間形成施設	(緑化施設等)	(仮称)南口シンボルロード整備事業	静岡市	直	L=200m	H28	H31	H28	H31	342	342	342.0		342.0
	(緑化施設等)	草薙駅北口広場整備事業	静岡市	直	A=3,100㎡	H28	H29	H28	H29	230	230	230.0		230.0
高次都市施設														
中心拠点誘導施設														
生活拠点誘導施設														
高齢者交流拠点誘導施設														
既存建造物活用事業(中心拠点誘導施設)														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										2,246	1,880	1,880.0	0.0	1,880.0
…A														
提案事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	交付期間内		交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
地域創造支援事業														
事業活用調査	事業効果分析	草薙駅周辺地区	静岡市	直	-	H29	H31	H29	H31	77	77	77.0		77.0
	まちづくり活動推進事業	草薙駅周辺地区	静岡市	直	-	H27	H31	H27	H31	48	48	48.0		48.0
合計										125	125	125.0	0.0	125.0
													合計(A+B)	2,005.0
…B														



都市再生整備計画の区域

草薙駅周辺地区(静岡県静岡市)	面積	250.9 ha	区域 草薙一里山、草薙1丁目、草薙3丁目、楠新田の一部、楠の一部、草薙、草薙北、弥生町の一部、中之郷、中之郷1丁目の一部、中之郷2丁目の一部、中之郷3丁目の一部、谷田の一部、草薙杉道3丁目、草薙杉道2丁目、草薙杉道1丁目、有度本町の一部
-----------------	----	----------	---



# 草薙駅周辺地区(静岡県静岡市) 都市再生整備計画事業概要図

目標	大目標:草薙駅周辺環境整備の推進と、産官学民によるまちづくり推進体制の構築 ・駅周辺の整備・開発に合わせ、街の顔としての、沿道の緑化や駅前広場等の公共空間への質の高い緑の配置など、人々が気持ちよく回遊し滞留し交流できる緑の整備 ・駅周辺における、歩行者や自転車の移動環境の安全性の確保・利便性の向上と、誰もが安心感を得られる防犯性の向上 ・まちの特色である「文教」や「にぎわい」を創出するような公共空間の利活用や維持管理を視野に入れたまちの管理運営体制の構築	代表的な指標	1. 駅前広場及び沿道の緑化に対する満足度 (%)	30.3% (平成26年度) → 43.8% (平成31年度)
		2. 駅前広場及び沿道の環境空間の割合 (%)	36.7% (平成26年度) → 54.1% (平成31年度)	
		3. 公共空間の利活用や維持管理体制の構築に伴う、草薙のまちへの愛着度 (%)	32.0% (平成26年度) → 41.5% (平成31年度)	

